

【総合的な学習の時間】 第27回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科・英語科

1. 単元名 発送に向けた最終準備

2. 本時の概要

本時は、前時まで完成させた「なかよし学園プロジェクト」の制作物を現地へ発送するための最終準備を行う100分(50分×2コマ)の授業である。自分たちのアイデアや思いが現地で正しく活用され、南スーダンの子どもたちに届くよう、2つの異なる対象に向けたドキュメンテーションを行うことをねらいとしている。

前半(1時限目)は、「LIFEログ」の今月3個目となる入力を行い、探究プロセスの自己省察を記述・蓄積する。その後、現地で実際に教材を用いて授業を行う方に向けた「利用の手引き」の作成に取り組む。教材の「狙い・思い」に加え、具体的な使い方や注意点を日本語で論理的に記述し、「これを見れば誰でも授業ができる」状態を目指す。

後半(2時限目)は、現地の子どもたちに向けた英語の「メッセージカード(手紙)」を作成する。英語の手紙を中学2年で習った既習文法を活用し、特定の個人ではなく「Dear Friend,」宛てとして、自己紹介や制作物に込めた想いを親しみやすく表現する。

これらの活動を通して、伝える相手(大人と子ども、日本人と現地住民)に応じた適切な表現力を養うとともに、プロジェクトを他者に託して社会へ還元するための責任ある発信力を育むために本時を設定した。

3. 本時の目標

- 探究プロセスの言語化と省察(自律的活動力に関わる目標):
LIFEログを通じて活動の気づきを豊富に記述・蓄積できるとともに、発送前最終タスクの見通しを持って協働的に取り組むことができる。
- 現地スタッフに配慮した教材仕様の論理的説明(問題解決力に関わる目標):
教材の背景にある理想や課題を再確認し、現地の授業運営を支えるための具体的なルールや注意点を「利用の手引き」として分かりやすく記述できる。
- 他者意識に基づいた英文での想いの表現(表現力・協働性に関わる目標):
英語の既習文法や特有の表現を交えながら、現地の子どもたちに寄り添ったメッセージカードを誠意を持って作成できる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第27回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2019)『課題研究メソッド Start Book』新興出版社啓林館

- 生徒用配布プリント:
 - 利用の手引きワークシート
 - 便箋

5. 本時の展開(100分:50分×2コマ / 中間休憩10分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	① 本時の流れの説明 スライドに基づき、本時の全体の流れ(1)LIFEログ、(2)手引きを書こう、(3)手紙を書こう)を確認する。	本日は「発送に向けた最終準備」を行う日であることを強調し、前半でスタッフ向け手引き、後半で子ども向け手紙を作る見通しを持たせる。
9分	② LIFEログの入力ワーク ・端末でスクールタクトを開き、「総合的な学習/探究 LIFEログ」の「1月」の課題にアクセスする。 ・日々の気づきや学びのプロセスについて、4～5行を目安に入力する。	・文字サイズの変更はせず、リアルな気づきを豊富に溜めておくよう改めて伝える。 ・LIFEログを用いた本格的な授業を展開する予定である旨をアナウンスし、意識を高めさせる。
40分	③ 「利用の手引き」の作成 ・Google ドライブ内の指定フォルダから、各チームの「利用の手引き」にアクセスする。 ・以下の項目に沿って、日本語で記入を進める。 【1】基本情報(グループ番号、作品名) 【2】教材の「狙い・想い」(なぜ作ったか) 【3】スタッフへ伝えたいこと(ルール、注意点)	・利用の手引きは日本人スタッフが読むため、日本語で書いて構わないことを伝える。 ・単なる説明書ではなく、「南スーダンの課題や理想」を思い出して想いを込めるよう促す。 ・【3】では「絵本のP5は大きな声で」「このルールはジェスチャー付きで」など、現地スタッフが授業で困らないよう具体的に書かせる。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
10分	休み時間	・教員は前半の記入状況を確認し、未完了のチームには2限冒頭10分で仕上げるよう促す。
【2時限目】		
10分	④「利用の手引き」の最終仕上げ ・前限から継続して、各チームで「利用の手引き」を完成させ、ドライブ上に保存する。	・前限から継続して、各チームで「利用の手引き」を完成させ、ドライブ上に保存する。 ・「これを見れば誰でも使い方が分かる」状態になっているか、机間巡視で最終チェックを行う。
40分	⑤「お手紙(メッセージカード)」の作成 ・教員から英語の手紙の「基本の形」について説明を受ける。 (①Date ②Greetings ③Body ④Closing ⑤Signature) ・配布された手紙の用紙に、英語でメッセージを記入する。 【Greetings】特定の個人ではないため Dear Friends, とする。 【Body】自己紹介(好きな教科等)や制作物の紹介。 【Closing】Your friends, 等を使用。	・中2までの既習文法(My favorite subject is... / I want to visit...)を活用して本文を膨らませるコツを伝える。 ・プロジェクト特有の表現として “I made this for you.” (これを作ったよ)、“Please use this.” (使ってね)などのフレーズを教員が板書で補足し、記述を支援する。 ・最後はフルネームまたは下の名前で正しく署名させ、用紙を回収して本時の活動を完了する。